

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	我が国とアジアにおける化学物質管理制度の高度化促進事業		担当部局庁	環境保健部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	企画課化学物質審査室、環境安全課		安全課長 上田 康治 化審査長 瀬川 恵子		
会計区分	一般会計		施策名	6-3国際協調における取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律		関係する計画、通知等	日本再生戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア諸国における環境保全上適切な化学物質対策政策の実現に貢献し、成長市場であるアジアを含めた国際的な環境保全政策の向上に資する。また、我が国の企業が遵守する国内化学物質管理制度をアジアに伝搬・普及することにより、成長を続ける海外市場における我が国企業のビジネス展開の側面支援にも資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	事業場からの排出を管理する「出口規制」や、上市前の化学物質を審査・規制・管理する「入口規制」を含む、化学物質管理に関する環境政策パッケージをアジア諸国に伝達することにより、アジア諸国における化学物質対策の能力向上を促進する。また、アジア諸国からの輸入製品を含む製品の使用・廃棄に伴う化学物質によるリスクの削減手法の検討を進め、この検討を通じて得られる我が国の知見をアジア諸国と共有する。さらに、我が国の化学物質管理の枠組について事実上の国際標準として受け入れられるよう、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律の制度的／技術的検討を行い、化学物質審査規制の強化を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	300	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-	300	
	執行額		-	-	-	-		
執行率(%)		-	-	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	アジア諸国の化学物質対策能力向上推進について、アジア諸国における環境保全上適切な化学物質対策政策の実施に貢献し、国際的な環境保全政策の向上に資するものであることから、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
	製品中化学物質のリスク削減手法の検討については、製品の使用・廃棄に伴う化学物質によるリスクの削減手法を技術的に検討し、これにより得られた結果を他国と共有するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
	化学物質審査規制スキームの強化方策の検討について、化学物質審査規制に関する制度的／技術的検討を行うものであることから、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	成果実績	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	アジア諸国の化学物質対策能力向上推進について、アジア地域における化学物質対策に係る講習会等の開催回数。	活動実績	-	-	-	-	-	-
		(当初見込み)	回					()
	製品中化学物質のリスク削減手法の検討については、製品の使用・廃棄に伴う化学物質によるリスクの削減手法を技術的に検討し、これにより得られた結果を他国と共有するものであるため、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	活動実績	-	-	-	-	-	-
(当初見込み)							()	
化学物質審査規制スキームの強化方策の検討について、化学物質審査規制に関する制度的／技術的検討を行うものであることから、その成果について、目標を数値化して設定し、評価することは困難。	活動実績	-	-	-	-	-	-	
	(当初見込み)						()	
単位当たりコスト			算出根拠					
平成24年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	0	300	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(グリーン分野) 300				
	計	0	300					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状・ 予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国の化学製品の輸出額の約4分の3を占めるアジア諸国においては、環境への影響を未然に防止するための化学物質管理施策を整備する必要性が高まってきており、国が実施すべき優先度の高い事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金 の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績、 成果 実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	アジア諸国における環境保全上適切な化学物質対策政策の実現に貢献し、成長市場であるアジアを含めた国際的な環境保全政策の向上に資する等、事業目的を達成できるよう必要な検討を進め適正な執行に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
-	事業の有益性から要求を認めるが、要求額については精査を行い必要最低限の要求とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					